

今期業況天気図

今期業況天気図

期間:令和3年1月～3月(売上・採算・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合の天気図は「雨」。推移をみると、令和3年1月～3月期の総合業況DIは▲38と、前期▲43から5ポイントの改善。前期から今期は「雨」のままの改善。業種別では、小売業・卸売業が9ポイントの大幅な改善、製造業も8ポイント、飲食業・サービス業は5ポイントの改善であった。建設業が0ポイントと前期同様であった。昨年以來「雨」が続いてきた業況であるが、令和3年に入り回復基調が鮮明となり、小売業・卸売業が「雨」から「小雨」になったのを始めとして、景気の落ち込みがひどかった製造業および飲食業・サービス業も業況が回復してきている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲41	▲49	▲43	▲18	▲43
採算	▲40	▲47	▲34	▲28	▲43
仕入単価	▲27	▲40	▲28	▲37	▲17
販売単価	▲13	▲15	▲21	1	▲13
従業員	9	4	19	3	9
資金繰り	▲27	▲31	▲20	▲18	▲31
今期業況 (総合判断)	▲38	▲46	▲34	▲26	▲39
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和2年4月～ 6月期					
2四半期前 令和2年7月～ 9月期					
1四半期前 令和2年10月～ 12月期					
今期 令和3年1月～ 3月期					

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

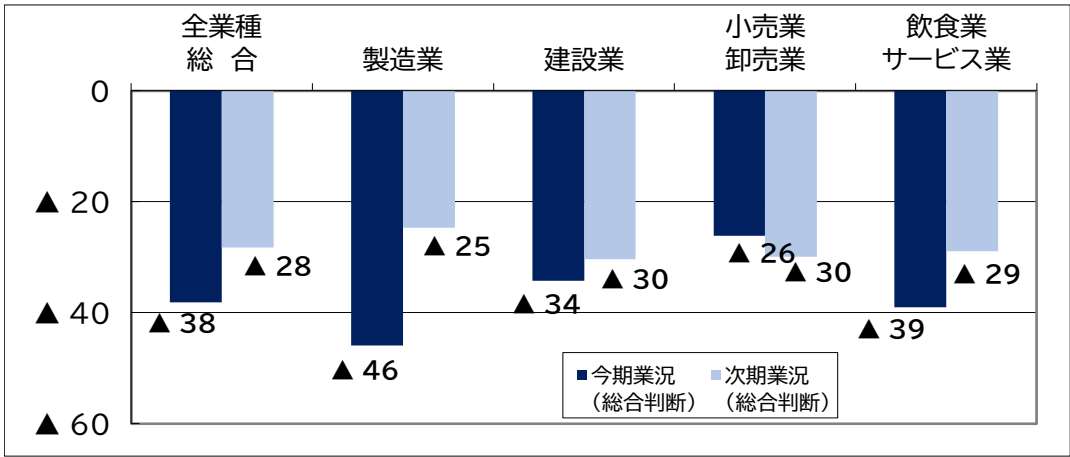
令和3年4月～6月(売上・採算・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、今期の「雨」から「小雨」へ回復する見込み。
産業別にみると、製造業が21ポイントと大幅な改善を見込み、飲食業・サービス業も10ポイントの改善の予想である。建設業は4ポイントの小幅な改善である。小売業・卸売業は改善傾向が止まりやや悪化の－4ポイントの見込みである。すべての業種が「小雨」となり、昨年初頭に始まった先の見えない不況感は解消に向かい小康状態となる見込みである。しかし、小売業・卸売業の動きにみられるように、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見えないためか、本格的な景況の回復の時期は不透明という見方がされている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 23	▲ 15	▲ 26	▲ 34	▲ 23
採算	▲ 27	▲ 26	▲ 32	▲ 28	▲ 26
仕入単価	▲ 25	▲ 35	▲ 29	▲ 29	▲ 16
販売単価	▲ 13	▲ 14	▲ 21	▲ 5	▲ 12
従業員	9	6	15	3	10
資金繰り	▲ 23	▲ 24	▲ 21	▲ 23	▲ 23
次期業況 (総合判断)	▲ 28	▲ 25	▲ 30	▲ 30	▲ 29
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

参考) 今期と次期の業況DI



業況DIの推移

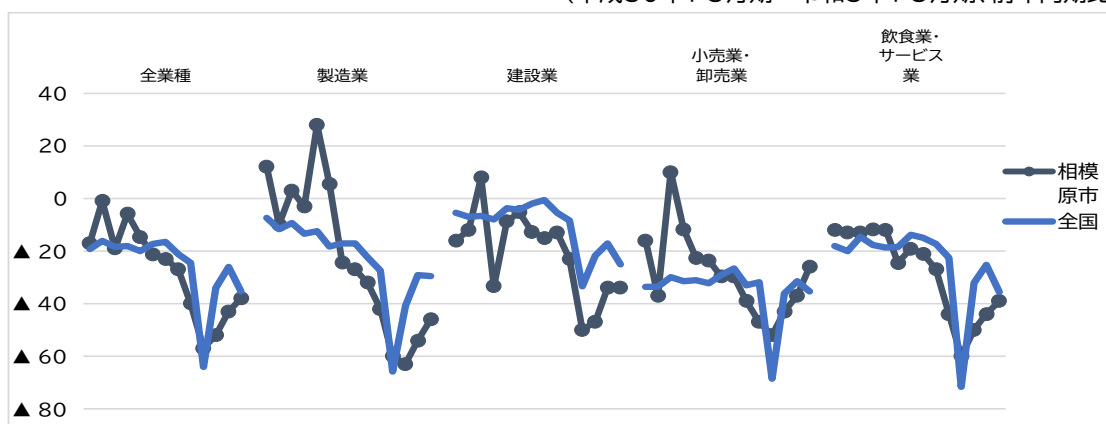
業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、前期▲43から▲38(前期差5ポイント増)と前期に続き改善。

産業別にみると、小売業・卸売業が▲26(前期差11ポイント増)がもっとも改善し、製造業は▲46(前期差8ポイント増)、飲食業・サービス業は▲39(前期差5ポイント増)と、前期に引き続き改善した。建設業は▲34(前期差±0ポイント)と、変わらなかった。建設業以外では、景況の改善が続いており、年末から3月にかけての緊急事態宣言・蔓延防止などの影響は小さかった。仕事場やプライベートの中で感染防止の対策が広がり、外出や消費に対する安心感が広がったためと考えられる。

全国との比較では、小売業・卸売業では当市の回復のほうが早い。全国では、緊急事態宣言の再発令の影響か、全業種で改善の動きが止まってしまっている。

(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)

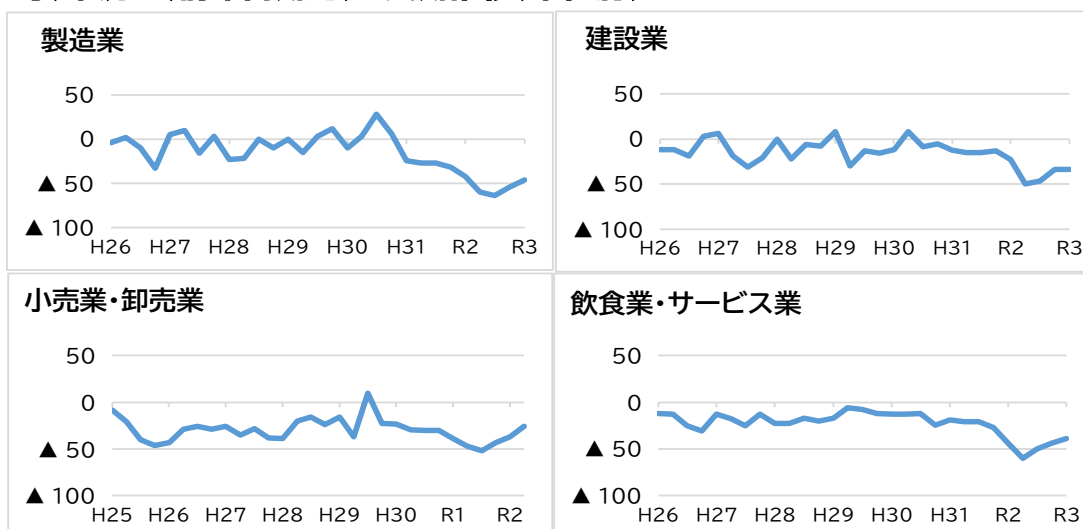


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断 DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・既存顧客の内製化や転注が増えてきている。これに伴い新規顧客開拓は順調に進められており、今後の売上を拡大する為の種まきの期間であると感じている。【粘着製品の加工及び販売、粘着応用製品の企画、加工、販売】
- ・北米寒波の影響による原材料の供給不安など、不透明な状況。【自動車用塗料の製造販売】
- ・最低賃金の上昇は構わないが、扶養の幅を年間130万円から150万円まで引き上げてほしい。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
- ・従来の研修会の開催による営業活動は不可能であり、サンプル配布によるサロン開拓に切り替え、現在取引先が確実に増え始めている。研修会の非開催の歪みを埋めるため、資料作成などで努力をしている状態です。【化粧品および医薬部外品の製造販売】

【建設業】

- ・リニア新幹線工事、北海道新幹線、洋上風力等のプラント注文予定がある。【シールド、トンネル工事他機器】
- ・発注時期の集中化、全ての発注に対応できない、見積り案件は多いが採算が合わない【建築物の新築・増改築】・今年に入り資材仕入れ価格が上昇している。【アンカー工事】
- ・相模原市の予算の減少【造園土木工事業】

【小売業・卸売業】

- ・アメリカ、中国の好況により商品が入ってこなく、価格が高騰している。品不足により代替品を探している。【住宅資材卸売】
- ・客の廃業が多い。【衣料品、ユニフォーム】
- ・このご時世、ヒトとの接触を避けるため、車の需要は増えていると思う。ゆえに中古車の仕入れ値も上昇気味である。【中古自動車、中古自動車部品の販売、輸出】
- ・飲食業に対しては援助されているが、食品製造業に対しては何ら対策がなされておらず、3月-4月の歓送迎会等、2年連続で春の大口売上がなくなっている現状。【弁当、惣菜】
- ・相模原市と PayPay コラボによる経済活性化策は良かったです。今後もこのような施策は期待しています。【学校用品、学生服販売】

【飲食業・サービス業】

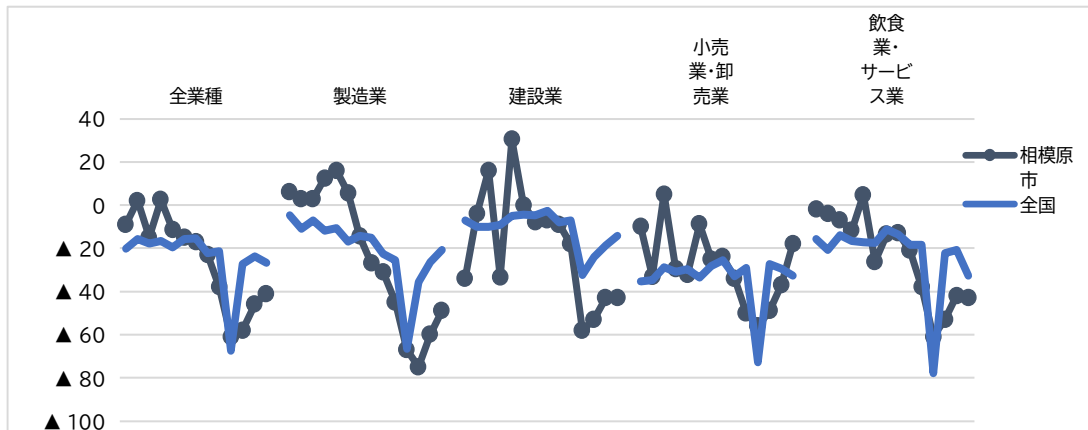
- ・協力金のおかげで赤字を埋めることはできたが、今後同じような状況が続けば、お店をやっているか不安。【接客、飲食提供】
- ・コロナ禍の法人自粛ムードが続いており、会員（メンバー）の来場は多いが、ゲストを含めた大型コンパが減っている。【会員制ゴルフクラブの運営】
- ・昨年3月より学生のスポーツ関係の遠征がないこと。【宿泊施設】
- ・コロナ禍においての対面サービス提供の難しさ。【コンサルティング、コーチング】
- ・ネイルサロンの本来ピークタイムである19時から21時に予約が入らない。緊急事態宣言の影響。【コンサルティング、社員研修、ネイルサロン、ネイルスクールの運営】

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲46から▲41(前期差5ポイント増)と、やや改善した。
産業別にみると、小売業・卸売業は▲18(前期差19ポイント増)で大幅に改善した。製造業が▲49(前期差11ポイント増)も改善。建設業は▲43(前期差±0ポイント)、飲食・サービス業は▲43(前期差1ポイント減)は、前期とほぼ変わらない。いずれも景況と同様な状況である。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、製造業および建設業は全国のはうは回復基調だが、当市では改善スピードが遅い。小売業は当市では回復が続くが全国では再度下落傾向になっている。都心を避けて郊外で消費するなど地元消費が増加する傾向が高まり、もともと人口が多い当市においては、そのプラス効果が出ている可能性がある。

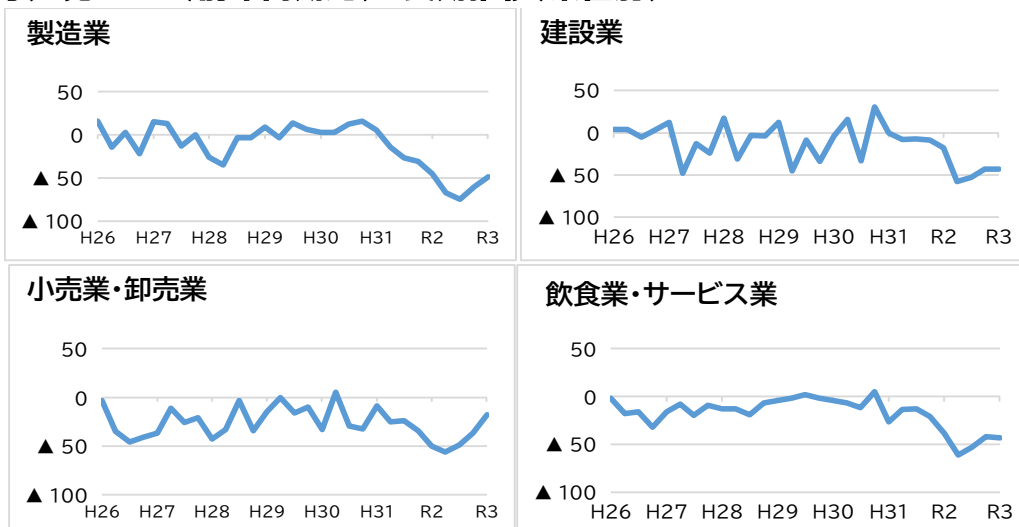
(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額 DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、前期▲45から▲40(前期差5ポイント増)と、改善。

産業別にみると、小売業・卸売業が▲28(前期差12ポイント増)、および製造業が▲47(前期差9ポイント増)と大きく改善した。建設業が▲34(前期4ポイント増)は小幅の改善、飲食業・サービス業が▲43(前期差±0ポイント)と足踏み状態である。改善傾向にはあるものの、平成元年の水準とはまだまだ差がある状況である。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、建設業の回復は全国よりも遅れており、小売業・卸売業は、売上DI同様全国よりも良く回復が続いている。

(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)

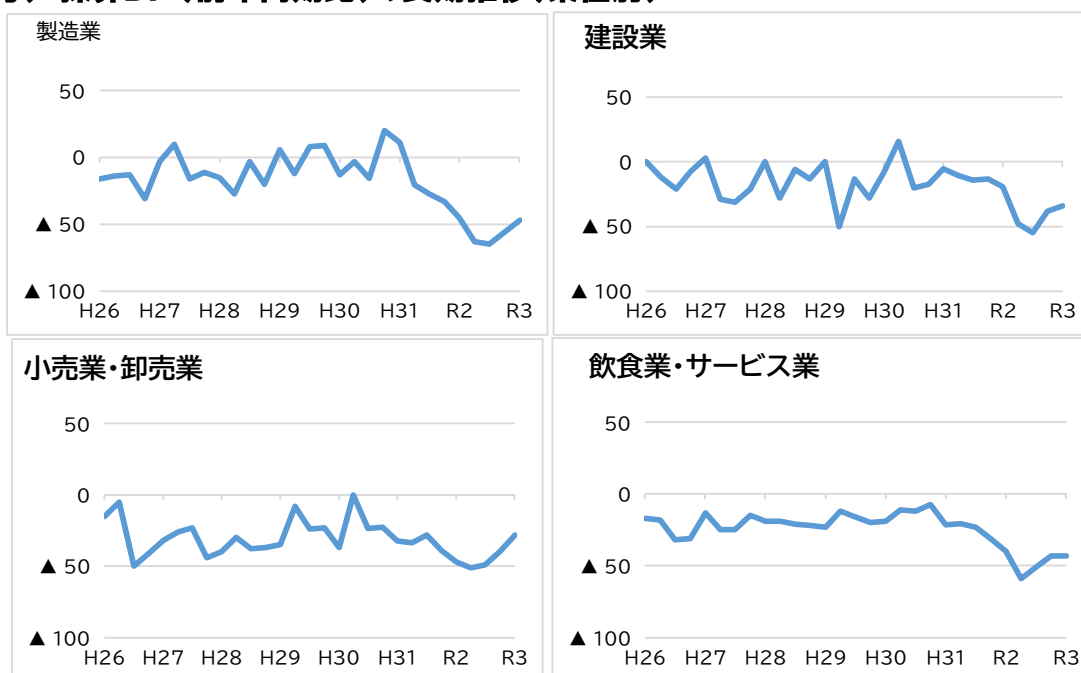


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

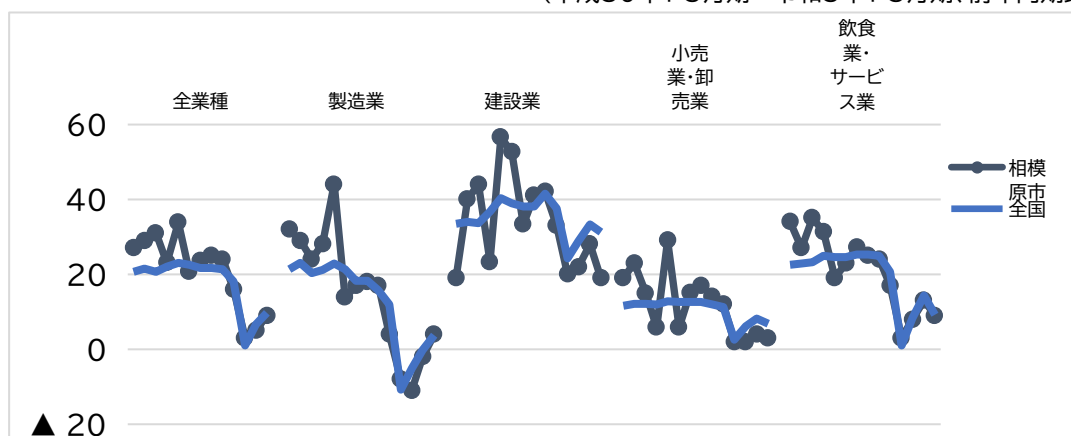
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、前期10から9(前期差1ポイント減)で、ほとんど変わらない。

産業別では、業況の回復が進む製造業では、4(前期差6ポイント増)とやや人手不足感が増加した。業況の改善が遅い建設業は、19(前期差9ポイント減)と人手不足は和らいでいる。小売業・卸売業が3(前期差1ポイント減)、飲食業・サービス業は9(前期差4ポイント減)であり、製造業も含めて、ほぼ人手の需給バランスが取れた状況である。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全業種において、ほぼ同様の傾向・同様のDI値となった。

(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

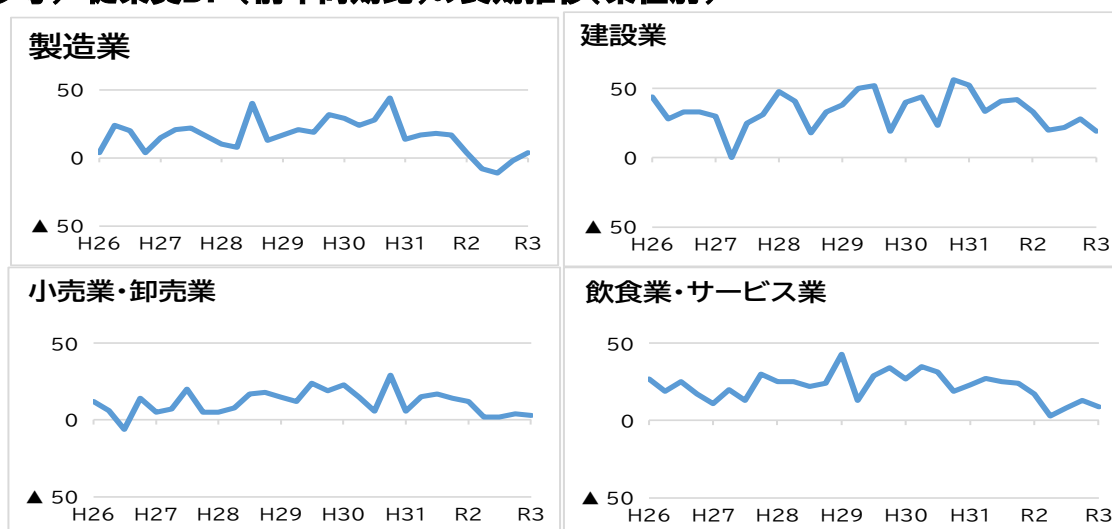
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

資金繰りDI(前年同期比)の推移

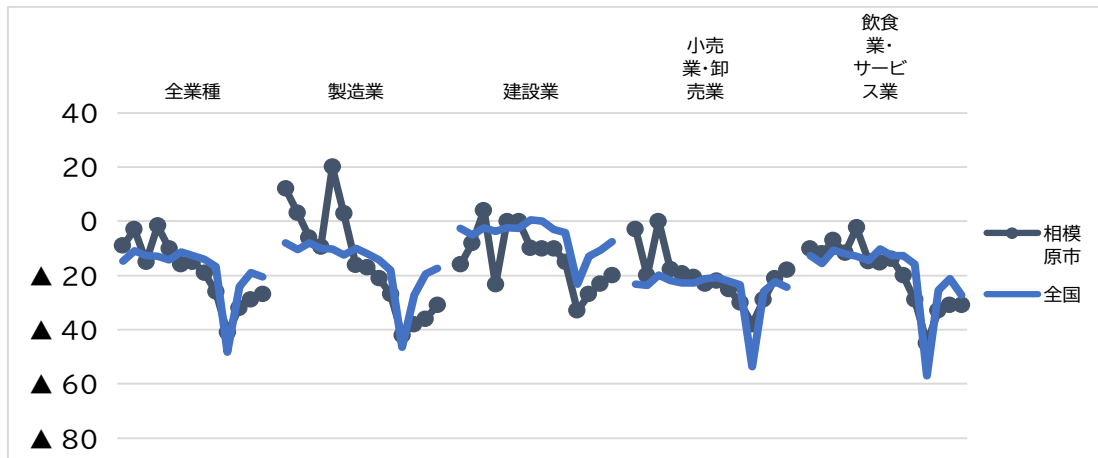
全産業の資金繰りDIは、前期▲29から▲27(前期差2ポイント増)で、前期から若干改善した。

産業別にみると、製造業は▲31(前期差5ポイント増)、小売業・卸売業で▲18(前期差3ポイント増)、建設業は▲20(前期差3ポイント増)とやや改善した。飲食業・サービス業は▲31(前期差0)と前期と変わらない。

資金繰りは、業況や売上に比べると回復のペースが遅い。飲食業・サービス業を中心に、新型コロナの緊急対策融資で借入した資金の返済の負担が重くなっている可能性がある。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業では当市のほうが資金繰りの改善が進んでいる。

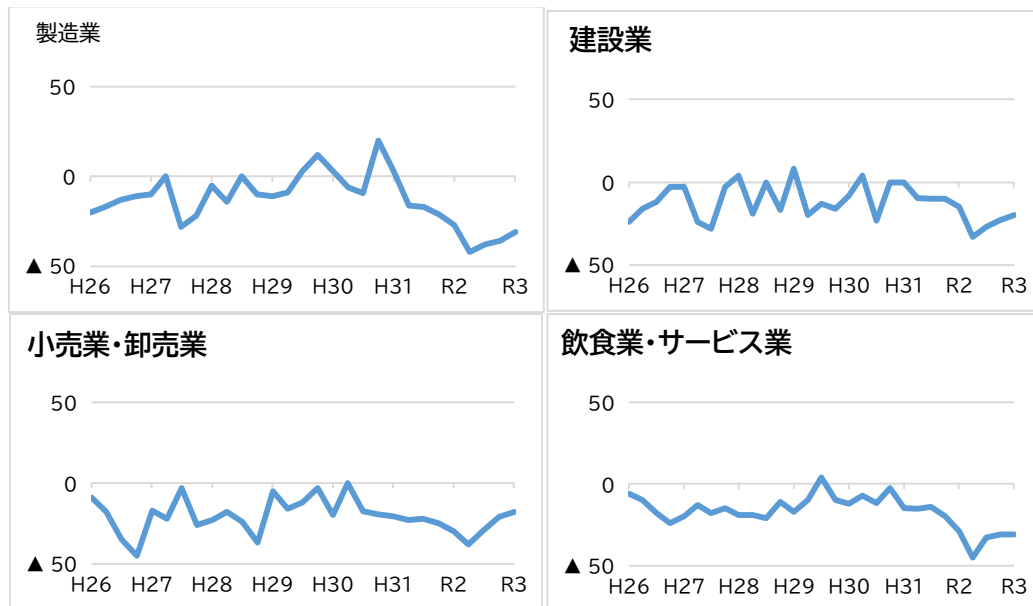
(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DIの推移

仕入単価DI(前年同期比)の推移

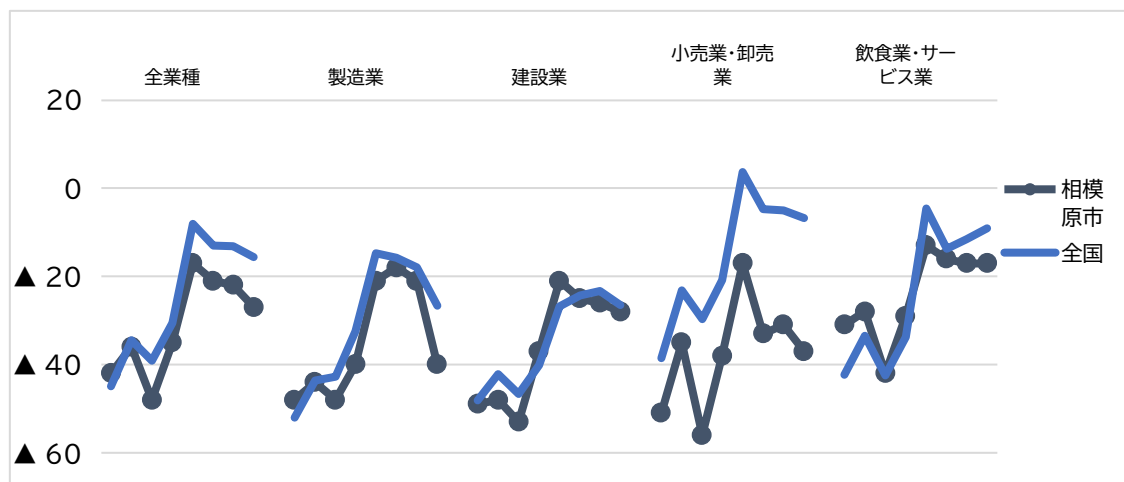
全産業の仕入単価DIは、前期▲22から▲27(前期差5ポイント減)だった。

産業別にみると、製造業は▲40(前期差19ポイント減)と大幅に下落し、小売業・卸売業は▲37(前期差6ポイント減)も低下した。建設業は▲28(前期差2ポイント減)、飲食業・サービス業は▲17(前期差0)とほぼ変わらない。

全体的に仕入れ価格は上昇している。コメントによると一部の輸入資材では、物流が滞り(特に北米)、値上がりが起きているので、注意が必要である。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業および製造業では全国との乖離が広がっており、仕入れ単価の上昇を訴える声が多い。

(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)



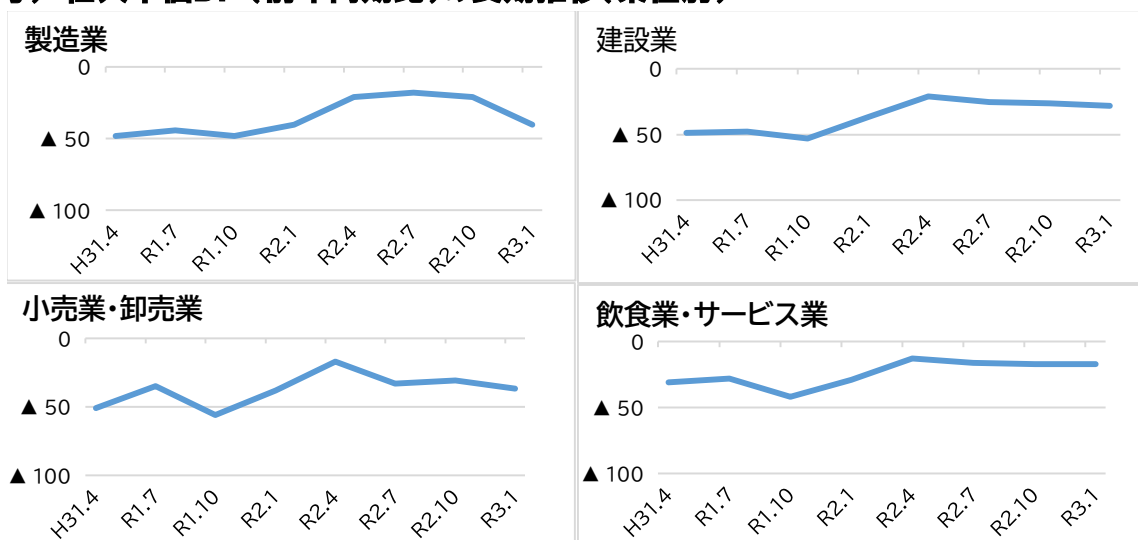
※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



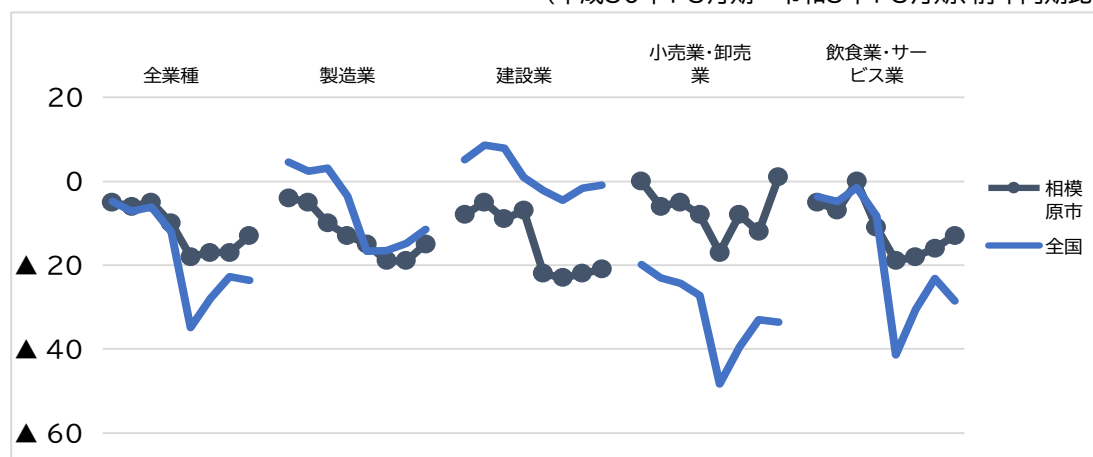
販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、前期▲17から今期も▲13(前期差4ポイント増)とやや上昇。

産業別にみると、小売業・卸売業のみが1(前期差13ポイント増)と大幅に増加し、製造業は▲15(前期差4ポイント増加)、飲食業・サービス業が▲13(前期差3ポイント増)と微増で、建設業は▲21(前期差1ポイント増)と、前期並みであった。小売業は令和元年の消費税率アップの時期以来のプラスのDI値となった。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国よりも、建設業のDI値が低く、小売業・卸売業および飲食業・サービス業のDI値が高い傾向が続いている。

(平成30年1-3月期～令和3年1-3月期、前年同期比)

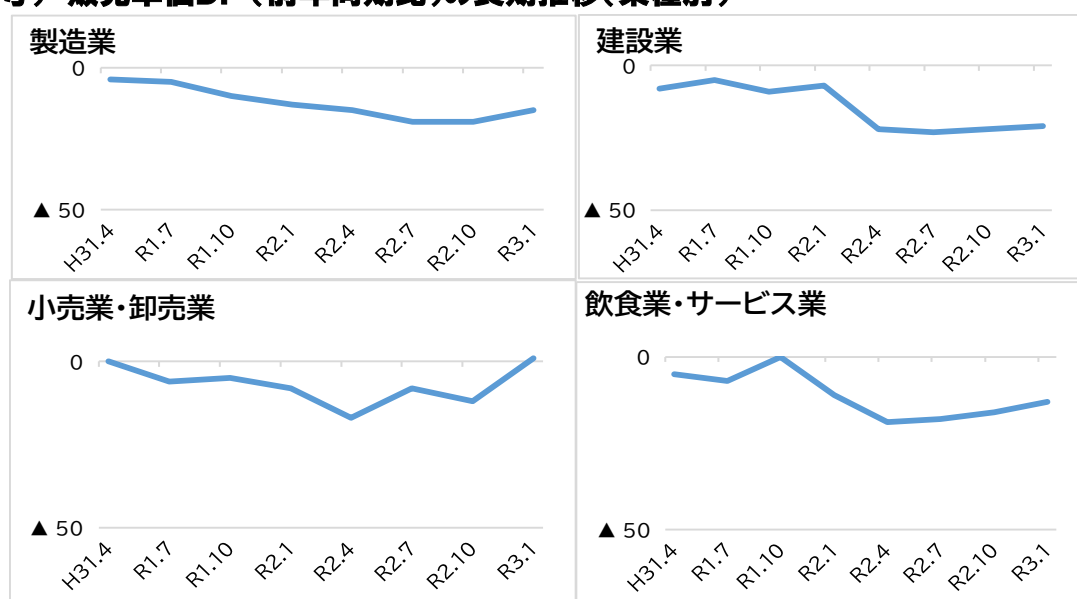


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和2年12月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R3.1～R3.3)				次期見通し(R3.4～R3.6)			
			売上:増加 採算、資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇	不变	売上:減少 採算、資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落	合計/DI値	売上:増加 採算、資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇	不变	売上:減少 採算、資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落	合計/DI値
製造業	売上	サングル数	33	53	149	235	55	90	90	235
		構成比	14	23	63	▲49	23	38	38	▲15
	採算	サングル数	23	78	134	235	31	113	91	235
		構成比	10	33	57	▲47	13	48	39	▲26
	仕入単価	サングル数	4	134	97	235	0	153	82	235
		構成比	2	57	41	▲40	0	65	35	▲35
	販売単価	サングル数	7	185	43	235	9	185	41	235
		構成比	3	79	18	▲15	4	79	17	▲14
	従業員	サングル数	37	171	27	235	33	183	19	235
		構成比	16	73	11	4	14	78	8	6
建設業	売上	サングル数	21	47	87	155	26	63	66	155
		構成比	14	30	56	▲43	17	41	43	▲26
	採算	サングル数	14	75	66	155	14	78	63	155
		構成比	9	48	43	▲34	9	50	41	▲32
	仕入単価	サングル数	2	107	46	155	1	108	46	155
		構成比	1	69	30	▲28	1	70	30	▲29
	販売単価	サングル数	4	115	36	155	5	113	37	155
		構成比	3	74	23	▲21	3	73	24	▲21
	従業員	サングル数	35	115	5	155	30	119	6	155
		構成比	23	74	3	19	19	77	4	15
小売業・卸売業	売上	サングル数	8	108	39	155	6	110	39	155
		構成比	5	70	25	▲20	4	71	25	▲21
	採算	サングル数	10	82	63	155	11	86	58	155
		構成比	6	53	41	▲34	7	55	37	▲30
	仕入単価	サングル数	41	28	65	134	19	51	64	134
		構成比	31	21	49	▲18	14	38	48	▲34
	販売単価	サングル数	25	47	62	134	17	63	54	134
		構成比	19	35	46	▲28	13	47	40	▲28
	従業員	サングル数	3	79	52	134	5	85	44	134
		構成比	2	59	39	▲37	4	63	33	▲29
飲食業・サービス業	売上	サングル数	22	91	21	134	14	99	21	134
		構成比	16	68	16	1	10	74	16	▲5
	採算	サングル数	10	118	6	134	10	118	6	134
		構成比	7	88	4	3	7	88	4	3
	仕入単価	サングル数	18	74	42	134	11	81	42	134
		構成比	13	55	31	▲18	8	60	31	▲23
	販売単価	サングル数	23	53	58	134	13	68	53	134
		構成比	17	40	43	▲26	10	51	40	▲30
	従業員	サングル数	57	117	234	408	70	174	164	408
		構成比	14	29	57	▲43	17	43	40	▲23
全業種 総合	売上	サングル数	38	158	212	408	46	211	151	408
		構成比	9	39	52	▲43	11	52	37	▲26
	採算	サングル数	15	308	85	408	9	324	75	408
		構成比	4	75	21	▲17	2	79	18	▲16
	仕入単価	サングル数	26	303	79	408	22	315	71	408
		構成比	6	74	19	▲13	5	77	17	▲12
	販売単価	サングル数	59	326	23	408	57	333	18	408
		構成比	14	80	6	9	14	82	4	10
	従業員	サングル数	24	233	151	408	27	260	121	408
		構成比	6	57	37	▲31	7	64	30	▲23
全業種 総合	売上	サングル数	37	175	196	408	39	212	157	408
		構成比	9	43	48	▲39	10	52	38	▲29
	採算	サングル数	152	245	535	932	170	378	384	932
		構成比	16	26	57	▲41	18	41	41	▲23
	仕入単価	サングル数	100	358	474	932	108	465	359	932
		構成比	11	38	51	▲40	12	50	39	▲27
	販売単価	サングル数	24	628	280	932	15	670	247	932
		構成比	3	67	30	▲27	2	72	27	▲25
	従業員	サングル数	59	694	179	932	50	712	170	932
		構成比	6	74	19	▲13	5	76	18	▲13
全業種 総合	売上	サングル数	141	730	61	932	130	753	49	932
		構成比	15	78	7	9	14	81	5	9
	採算	サングル数	61	555	316	932	54	610	268	932
		構成比	7	60	34	▲27	6	65	29	▲23
	仕入単価	サングル数	87	403	442	932	96	477	359	932
		構成比	9	43	47	▲38	10	51	39	▲28

集計表(トピックス)

製造業
①取引先の多くがテレワークになり、営業活動が難しくなった。②求人を出しても応募がない。【FA、メカトロニクスの電気設計、ソフトウェア設計および製造】
2020年緊急事態宣言解除後、第一次相模原市39キャンペーンをお客様に説明し、コロナ禍で皆大変な事もあり、更に割引した価格でなんとか少し繋ぎ止めた感じでした。新年になりコロナ患者が激増し、再び非常事態宣言。お客様も徐々に減少。遅めに知った相模原市コロナ応援助成金が畳にも使えると知り、再び常連様に営業した所数件仕事をさせて頂けました。事前登録2月15日迄と郵送書類提出にて2月21日消印となると時間が足りませんでした。再度コロナ応援助成金を延長して欲しいです。またホームページを新しくして集客、物販、更にお客様宅訪問前にカメラで状況把握して見積もりを出して行く事は可能か？補助を受けたい。【畳製作、網戸張替え、小物類製作】
2月になって少し芽が出てきた感がある。【電気機械製造】
アメリカの仕事が来なくなった。【金属機械部品、ワイヤーカット、放電加工機を用いての賃加工】
イベント関係の受注がない。若手正社員の応募がない。【紙管の製造販売】
オンラインでの受注が増えている【電子機器】
コロナで先が読めない【無線通信機器開発製、半導体製造装置組立調整検査ビッグデータ解析インフラ事業】
コロナで売上不振。【寝具およびウレタンマットレス】
コロナによる経済活動全体の低迷がいつまで続くかが不安材料です。
コロナの影響【食品(豆腐類、麺類)】
コロナの影響が大きく、イベント等の中止や縮小で関連商品はゼロ【不織布製品の企画製造販売】
コロナの影響での受注減【プラスチック加工業】
コロナの影響で計画が遅れていますが、あと半年後には受注は増えると思いますが、心配なのは受注単価が下がらないか、仕事の取り合いにならないか不安です。また受注が増えるまで会社を維持できるかも心配です。【FRPを使用した造形物等の製作、アミューズメント施設等の装飾物等の製作、キャラクターの製作、美術造形物の製作、店舗・オフィス内の装飾】
コロナ禍が鎮まるように願います。【制御盤の製作、ケーブル加工など】
コロナの影響で市況が低迷している。【生コン用碎石、道路用路盤材の生産、販売】
コロナの影響で先の見通しが読めず。【自動車用オイルフィルター部品製造】
コロナの影響で先送り感が否めない。【ヨットマット、ソギン設計製造、修理他】
コロナの影響によりチェーン店等の売上減少に伴い、発注が少ない。【ガラスびんの製造】
コロナの影響により学校行事が少なくなり、作業も遅れている。【学校卒業アルバムの印刷、一般物印刷】
コロナの影響による経済の低迷とそれに伴う売上減。【車両用金属加工部品】
コロナの影響をあまり受けず。【自動化装置製造】
コロナの影響を感じます。【金属加工業】
コロナの関係にて輸出が大きく減少した。
コロナよりも経済優先してほしい【紙製品化成品】
コロナ禍での経済活動低下による加工依頼の減少。【軟質ウレタンフォーム加工およびウレタンチップフォーム製造加工】
コロナ禍での対策は経済優先にシフトするべき【紙製品生産化成品生産】
コロナ禍にあって、前期は減収・減益を強いられたものの、税引き後純利益も確保でき、内部留保も向上見込みとなった。今期は、順調な受注内示が呈示されており、やや良好含みである。従って、前期は控えていたベースアップを実行予定。【輸送機用部品製造・加工、当社は、いすゞ自動車㈱のサプライヤーです。主に8t車以上の大型・重量車両の足回り部品の製造・加工が主業です】
コロナ禍にて、期末の駆け込み需要は減少した。次期以降の新規開発案件は増加傾向にあり、今後の景況感改善を見込む。【自律移動ロボットの試作開発/受託開発協働ロボットの Sier】
やはりコロナのせいで人の動きがにびい。【真空、化学、宇宙の機器製造販売】
コロナ禍による売上大幅減。【工業用装置の開発、製造、販売】
コロナ禍業界の冷え込みが続いて見通しが立たない【超音波洗浄装置製造、販売】
コロナ不況はまだまだ続くだろう【金属加工】
テレワークが大きく響いて、小売店の売り上げ低下している。その影響が大きい。【組紐製造及び販売卸】

安易な緊急事態宣言などするから、景況は良くなるはずがない。持続化給付金や家賃支援給付金の2回目を早急にすべき。【金属製品製造業】
外資の会社の生産拠点等の見直しにより、今後の受注量の変化が読めない事【金属エッチング、アルマイト銘板、シール・シルク印刷製造】
企業によるチラシ・カタログ等広告宣伝費の削減、イベント中止＝印刷物の制作中止【編集・グラフィックデザイン・商業印刷・Web制作】
既存顧客の内製化や転注が増えてきている。これに伴い新規顧客開拓は順調に進められており、今後の売上を拡大する為の種まきの期間であると感じている。またこのコロナ禍で改めて事業ドメインを見直す必要があり現在進めているが、状況に応じて柔軟に変化させていく必要があると感じる。【粘着製品の加工及び販売、粘着応用製品の企画、加工、販売】
技術系従業員を雇用したいが、景況が読めない現行の売上では難しそうです。【車製造関連】
客先の売上不振のため、受注量が大幅に落ちている。【機械部品加工】
客先訪問の減。【輸送荷役補助リフト】
業界内の設備投資の減少【抵抗溶接機の製造・販売・メンテナンス】
業種によって良い業種と悪い業種の差【寿司種、水産総菜類の製造販売】
業種により仕事の差が大きい。【金属プレス部品】
業績、売り上げは大きくぶれてはいないが、大型案件の失注や計画の見直しなどがあり、先行きの不透明感はある。【工場生産設備のOEM生産、カスタム装置の設計製作、制御盤・配電盤設計製作据付電気工事、加工品の受託生産】
景気の悪化【制御盤の設計および製造】
景気の先行きが不透明。【電気機器製品組立、電子基板実装】
景気は徐々に回復してくると感じている。【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスト】
景気感に不安を感じる。どの得意先においても、(今は)あまり下がってないと言われる所も多いが、明らかに出荷量が減っているように感じる。【段ボール製函紙器製造販売】
景気感良好に戻りつつあるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で状況は不透明なまま【省力機器及びロボット溶接治具等の設計製作】
景気先行不透明。受注減少。【光学ガラス加工】
経済活動が停滞により、客先の仕事が減少しているので仕事量が最悪の状況です。【自動車部品プレス金型設計製作】
建設工事の減少【工業用化成品加工販売】
顧客の不況が影響している。【設計、試作】
高齢化、技術力【製造業】
今後、経験豊富な職人の高齢化が進み、引き継いでほしい若者たちの働き方の変化もあり、その技術の継承が難しくなっている。【金属加工(架台等)】
今後1年間不況が長期化すると感じている。【機械加工全般】
今後の受注量の動向【各種試作品、開発品】
今後の新型コロナウイルスの推移【板金周辺機器の開発・製造・メンテナンス】
最悪に近い不況感。自動車の販売不振。コロナの感染収束不透明なため、世界的経済不況が長引いている。【自動車用部品(ねじ)の製造】
最低賃金の上昇は構わないが、扶養の幅を年間130万円から150万円まで引き上げてほしい。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
在庫調整が一巡し、コロナ終息が見えてくればV字回復可。【電子回路製造・設計(プリント基板)】
昨年の4～6月は、コロナ特需があったため、今期はそこまでの売上は見込めないものと考えており、昨年実績より下がると考えております。【もやし、カット野菜の製造】
昨年の4Qに比べ受注状況が好転しているが、これが一時的なものか、コロナの状況次第でまたshrinkするものか読み切れない。ただ、受注が伸びている一方で調達サイドが厳しいため納期が延びている現状。【空圧制御バルブの製造・販売】
昨年はコロナの影響で売上不振だったが、今年に入って急に受注が増えた。【自動機械設計、製造、販売】
昨年度の日中貿易摩擦の影響により受注低迷となった。その後、回復の兆しが見え始めた頃にコロナ禍の影響を受けてしまい、再び受注低迷となった。また、材料・副資材等の仕入品については価格上昇傾向にある。【プリント配線板製造】
産業構造の変化。【産業機械組立(ダイカスト)】

仕事量にムラがあり、対応が難しい。【プラスチック金型設計製作】
仕事量の減少【制御盤の設計および製造】
仕入単価の上昇【板金】
自動車関連、通信関連業界の好調により受注回復傾向になってきた。【プリント基板穴あけ加工】
主要大手受注先の年間計画があり、当面厳しい状況が続くと思われる。【建設機械製造業、フォークリフト部品製造、組立】
取引先との移動自粛。従業員の自粛疲れ。【金属表面処理】
取引先のコストダウンが厳しい【建設機械用部品、油圧部品】
受注先の減少。【金属加工】
受注につながる見積り要請が少ない。【工業用機械制御装置】
受注は多いが単価が安い。【プラスチック切削加工】
受注額の減少。【ゴムパッキン加工】
受注減少のため売上げ伸びず採算悪化。【通信機器の製造受託】
受注状況は2月以降戻りつつあるが、先の読めない状況が続く予想、若手の人材不足【産業用ワイヤーハーネスの加工】
設備を手掛けているお客様の注文が激減している。【金属焼付塗装】
受注増加に対応するため、残業等増え懸念している。人の採用や工場拡大を図り対応したいと考えています。【半導体製造装置部品製作】
受注量が減り売上も減少。注文が決まっても短納期で割が合わない。
受注量の減少。
受発注の状況。【印刷】
従業員が多い。仕事が少ない単価が上げられない。【鉄鋼加工業(ガス、レーザー切断)】
従来の研修会の開催による営業活動は不可能であり、サンプル配布によるサロン開拓に切り替え、現在取引先が確実に増え始めている。研修会の非開催の歪みを埋めるため、資料作成などで努力をしている状態です。【化粧品および医薬部外品の製造販売】
小規模な収益率の高いM&A先を探していますが、手数料が高そうである。【ねじ、ボルト】
状況により中国生産の部品が国内生産になり、受注増が見込まれる。【光通信機器周辺部品製造】
新規設備導入の客先が減少。【超音波バリ取り洗浄装置の製造販売】
新型コロナウイルスによって景気が悪く感じるのか、それとも経済情勢が悪いのかわからない。【精密板金加工業、半導体、医療機関連、通信機器装置等】
新型コロナウイルスの影響【臨床検査薬の開発、製造、販売】
新型コロナウイルス感染対策のため、営業活動(情報収集)が遅れる。【電力機器部品、免震デバイス、母線】
人手不足【橋形クレーン、天井クレーン】
生産性の向上【キャンピングカー製造販売】
製造業についてはコロナの影響による業態の大きな変化はない。現業態を維持しつつ、世の中の変化に対応していく。【鉄道会社の地上設備(変電所)で使われる計測器】
設計から製造までの間は技術者が行い、特に製造においては時間がかかります。よってある程度の受注が見えていないと従業員が手待ちになり生産が上がりません。【自動制御盤設計製作、自動省力機】
先期より売上減少に拍車がかかり、受注が止まったままになっている。【電子回路基板設計／製造／販売】
先行きが不透明すぎる。受注や予約が無さすぎる。【工業製品の塗装】
先行きの不透明感。【金属加工業】
前回と同様、受注動向が不透明。立ち上げを期待したい。【人工大理石加工製造業】
前四半期に比し受注増。ただし、コロナの影響次第で今後の景気動向は不透明。【空圧制御バルブの製造・販売】
前年同期比(コロナ前)売上25%下降。下げ止まり続き今後も不安。【機械部品の加工】
全体的に仕事量が少ない【製造装置の設計、制作、金属、樹脂部品の切削加工】
相模原市の入札に関して市内業者優先感が無い。【しょうゆ】
大手が冷え込んでいると中間業者もダメで、その下の我々もダメです。【金属表面処理】
中小製造業の仕事量が好転していない。【金属加工】
注文数がなかなか元に戻らない。【金型プレス加工】

当社は大手の会社の下請けからの依頼によって仕事が回ってくる製造業であり、先がまったく分かりません。【木枠梱包、パレット製作、鉄製品溶接作業および製造】
年度末の状況が昨年までと一変しました。新年度入りしても良くなる気配がありません。【加工部品(治工具、試作、精密部品)】
売上は去年と変わらないが、顧客が変わった。去年は台湾、中国で今年は、中国、米国【電子部品(水晶デバイスセンター)用ソケット製造】
半導体業界の伸長による受注増の対応。【精密板金】
不景気の影響が出ており、少しずつ改善はされているようだが、まだ実感としては出てきていない。【金属合紙】
北米寒波の影響による原材料の供給不安など、不透明な状況。【自動車用塗料の製造販売】
民間工事が減少しており、競合が今まで以上に増えている。【アルミ手摺や門扉等の製造、取付】
予測がつかない状況と雇用状況【段ボール製品製造販売、包装資材一式販売】
良いと思える。【組立配線、設計】
例年以上に先行きが不透明。【金型製造業】

建設業
4月以降の受注が少ない。【管工事】
いまのところ、まま仕事あり。【リフォーム工事】
インフレが心配。ハイパーインフレが来るのか不安。【管工事】
コロナで自粛【総合エクステリア業】
コロナによる景気の下落【塗装防水工事業】
コロナによる不景気感が強くなる。【土木工事業】
コロナのためすぐには工事したくないお客様が出てきている。【リフォーム、空調工事】
コロナの影響で営業がやりにくい。【リフォーム】
コロナの影響で仕事が減ること。【土木工事業】
コロナ影響で民間工事減少【解体工事業】
コロナ禍での民間設備投資意欲の減退の影響が少なからずある一方、短期的には堅調な公共工事については、監理技術者が不足し伸ばしづらい。【建築工事、土木工事、遺跡発掘調査、集合住宅清掃管理】
コロナ禍で急に仕事がキャンセルされる。募集を出しても人手が足りない。【工場、テナントの間仕切り工事】
コロナ禍における店舗出店計画の激減また工事自体の延期など。【内装工事・木工事・家具工事・建具工事・軽天工事・ボード工事・クロス工事・床工事】
コロナ禍による営業不振【大工業】
コロナ関連で騒ぎすぎであると感じます。【工場 事務所、アパート、注文住宅 リフォーム等】
リニア新幹線工事、北海道新幹線、洋上風力等のプラント注文予定がある。【シールド、トンネル工事他機器】
外でやる仕事なのにリモートとかなのために自宅にこもる人に猜疑心で見える人が多く、工事がやりにくい。
業界全体の停滞感を感じる【ビル内装工事、内、外装リフォーム】
緊急事態宣言の延長により景気低迷が長引くことにより、先行きが見えてこない。【土木工事業】
景気感として、仕事の量が減って売上減少につながっている。【左官タイル工事請負】
研修の機会が減り、講師の依頼がなくなった。【研修工事】
元請が在宅勤務のため、下請けは共に受注減になっている。【エクステリア販売施工】
現況として従業員を増員したいが、今後の景気感が不安で増員を抑えている。【電気設備工事】
顧客安定獲得【新築戸建工事、リフォーム工事】
例年以上に見通しが悪い【建築工事(マンション・ビル・戸建て修繕)】
公共、民間工事の減少に伴い、受注工事が大幅に減少、今後益々工事量が減少し、10月以降は大変厳しい状況が予測されます。【鉄筋工事一式】
好景気は見当たらない感じ。【電気工事、エアコン工事】
工事(額・数)の大幅減少、機器(感染症対策)の大幅増加、手間が増え収益性減少、新規取引先が増え回収期間が悪化【クリーンルーム施工、クリーン機器販売、介護支援事業所】
今、人も減少しているので、増やすことが大事と考えています。【土木作業】
今こそ緊縮財政を改めて、消費税減税、財政出動をすべきではないか。【土木、建築、不動産】
今後の景気が心配【外構工事】

今年に入り資材仕入れ価格が上昇している。【アンカー工事】
受注の減少【管・電気・建築工事業】
受注減【電気設備工事業】
受注状況減少。【特注家具設計施工】
受注単価の低下。利息の低下。【マンションの造作工事】
受注量の減少。【左官工事業】
従業員が不足しており、1人に対する仕事量が過剰である。【総合建設業】
従業員の高齢化。若い人が集まらない。【解体業(建造物)】
春以降の受注減、物件数の減少。【鉄骨加工、取付】
消費低迷【カーテン】
職人の応募が来ない。【解体工事、土木工事、外構工事】
新しい店舗等の工事が少なくなる。【建築金物、金属加工、重軽量鉄骨製造取付】
新型コロナウイルス感染症の影響により、民間建設投資が減少すると見込まれ、民間企業では、事業計画の縮小・変更の動きが増加した。【土木、建築工事請負事業・不動産事業】
新型コロナの影響は昨年から今年4半期までの影響はなし。新年度4月以降が不透明なのが、逆に不安である。【土木・舗装工事業】
人が全然集まらない。【廃棄物処理、解体業】
人材の育成不足【交通安全施設工事】
人材不足による受注数の限界。【機械器具設置、とび土木工事業、管工事】
先行きの不安感が増大している。
先行の不安感が増大している。【公共工事】
先行不安【賃貸原状回復工事、住宅リフォーム】
相模原市の予算の減少【造園土木工事業】
大手企業の受注が低下、遅延している。また、受注時に数件重なってしまい、人手不足により断ってしまう。【工場内設備の電気工事など】
鉄骨材単価の上昇。大型店舗、工場等の建設が検討に至っている。【鉄骨建築工事】
同業他社、業界全体の高齢化、若手不足。【配管設備工】
同業他社との値引競争。【水道、土木工事】
同業他社は仕事が少ないようなので楽観はできない。【看板、建築金物】
発注時期の集中化、全ての発注に対応できない、見積り案件は多いが採算が合わない【建築物の新築・増改築】
発注量の減少。【外構、土木工事】
不況感がいっぱい。この先経営状態がどうなるのか不安でいっぱい。【空調設備】
不況感が強い。【住宅リフォーム】
民間工事がかなり減ってきている。競争が激しくなり受注単価も低下傾向である。【建設会社である奥村組の相模原営業所について記述します】
民間工事について、引合は不変だが受注に至らない(恐らく受注価格が下がっているのではないか)。
公共工事の減少(官公庁は土木関係に重点を置いているようで、建設は少ないようだ)。【電気工事】
問い合わせはあるが、受注にはいたらない。【建築塗装、防水】
令和3年度以降コロナの影響により公共投資が減ることによる危機感。現状はまだ不安。【土木工事(主に公共)】

小売業・卸売業
アメリカ、中国の好況により商品が入ってこなく、価格が高騰している。品不足により代替品を探している。【住宅資材卸売】
コロナに振り回された1年だったが、学ぶことも多かった。【住宅設備機器卸売業】
コロナ禍における外食産業を中心とした消費減少。【生鮮青果物卸売】
コロナ禍の影響で売上が伸びず。【ボルト、ナット、板金部品等の部品の商社】
コロナ後の国民生活の変化に対する不安【建設機械用板金部品及び LED ライトの販売】
民間企業の資金不足による受注低下。【OA 機器、建設工具、防災用品販売】

コロナ収束しない限り海外出張及び海外顧客来日も出来ず先が見えず。【光学レンズ輸出(工業用機器、医療機器用)】
学校給食、保育園給食の卸です。景気の動向はあまり感じません。【冷凍食品、調味料、缶詰、乾物、菓子】
客の廃業が多い。【衣料品、ユニフォーム】
銀行から借り入れをするも返済できる見込みが心配。【活魚、貝類】
材料の値上り。輸入材の入荷が少ない。【新建材、木材、建具、建築材料】
仕入単価の上昇。仕入先の納期遅延。
新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明【地方卸売市場(青果)の運営】
新型コロナウイルスの流行のため、仕入、売り上げともに低迷。【中古車輸出および販売】
設備投資減少。【産業車両(フォークリフト)】
大手企業と我々零細企業の社員待遇に、開きが生じている。仕入れ先は大手でしっかり値上げしてくるが、利益は減るばかり。一生懸命な社員に報いることがだんだん、出来なくなっている。零細・小企業などの平均的な給与が知りたいのと、今は新聞でも春闘の話題が多いが、雲の上の話としか聞こえてこない、【自動車部品】
輸出用コンテナが不足。【健康食品】
輸入品の価格上昇。【自動車用補修用品卸売業、その他】
「海外便」の減少に伴い、仕入れが高騰【生花販売】
4～6月期は、昨年1回目の新型コロナ緊急事態宣言下でしたので、今期は改善が期待されます。しかしながら、個人の自由な外出、イベントの中止は引き続いていますので、販売不振はしばらく続くと覚悟しています。【米菓】
キャッシュレス化が進んでいてクレジットやコンビニ払いなど代金回収の経費がかかっている。【燃料販売、リフォーム】
このご時世、ヒトとの接触を避けるため、車の需要は増えていると思う。ゆえに中古車の仕入れ値も上昇気味である。【中古自動車、中古自動車部品の販売、輸出】
コロナが不安。【靴、カバン、布団修理、クリーニング】
コロナで売上低迷。【酒販売】
コロナによる顧客の外出控えによって来店販売の売上が悪化。ネット販売は好調。【枕、寝具】
コロナの影響【自動車販売、整備】
コロナの影響は昨年ほど無いみたいです。【美術品、絵画】
コロナの関係【スポーツ用品】
コロナ影響で依然食品以外の売上は不振傾向が続いており、またかかる経費も継続して増えています。当初は店舗で行っている対策に関し、お褒めの言葉や感謝の言葉も多く頂きましたが、現在は当たり前の事ととらえている方が多いと思います。お客様にご協力を頂かないとならない対策(ディスタンス確保等)に関しては当たり前のようにご協力いただけるようになり、店の労力は減少しています。【衣料品、住まいの品、食品、各種サービス】
コロナ禍、宣言延長で人手が少ない。【衣料品販売】
コロナ後の消費行動に期待している。【車両販売、輸出】
コロナ特需【文具、事務用品、OA サプライ、オフィス家具販売】
コロナ特需のため、一時的に売上が上がりましたが、維持することが難しいと考えています。【化粧品の通信販売】
ひま。【家電販売】
引き続き Web 注文、通販の売上が好調である。【健康食品の販売(玉ねぎ皮茶など)】
飲食業に対しては援助されているが、食品製造業に対しては何ら対策がなされておらず、3月-4月の歓送迎会等、2年連続で春の大口売上がなくなっている現状。【弁当、惣菜】
感染症特需【生鮮食品・一般食品の小売販売中心のスーパーマーケット】
季節用品の売上不振【作業服、作業用品】
業界の未来図が描けない。【ガソリンスタンド】
緊急事態宣言に伴う飲食店休業もしくは時短営業の影響により売上が激減。補償金もほとんど無く、経営悪化は免れない状況。税金は公平で補償が不公平に甚だ疑問。【酒類販売】
景気感：皿【小売製品企画開発】
消費者のコロナ慣れによる外出の機会増大による消費マインドの低迷【食料品、生鮮食品、スーパーマーケット】

景気不況の予感。【コンビニエンスストア、書店】
最近の消費者の購買単価の減少。【エステ、化粧品販売】
子供来店が減少。高額商品の鈍化。人気商品の入荷不足。【おもちゃ販売】
徐々に上向きか。【食品】
商品の枯渇(需要と供給のバランス)【釣り具】
少しずつ消費が低下している。【自動車、部品、用品販売】
消費の二極化は、使い分けと所得の両面があり、所得格差も拡大している。増益企業による所得拡大、失職者の増大、未来への不安、など心理面でも多様化していると感じる。【総合小売業】
相模原市と PayPay コラボによる経済活性化策は良かったです。今後もこのような施策は期待しています。【学校用品、学生服販売】
卒、入学行事の中止、各自治会催し自粛、スポーツ行事の自粛の解除が待ち遠しい。【お弁当、惣菜の製造販売】
特になし【たばこ小売り】
消費者の経済不安に対する買い控え。輸入商品の高騰。【墓石、墓地、仏壇、仏具等の販売】
新型コロナウイルス【酒、タバコ、灯油】
新型コロナウイルスで売上不振。
新型コロナウイルスによる葬儀の縮小化。【生花、園芸品の小売】
整備在庫台数の減少。【自動車ディーラー】
先が見えないので、お店を閉めることを考えています。【お菓子製造販売】
売上を上げるために仕入れを増やすと捨てるものも多くなる。【コンビニ経営】
販売しているものがお客様たちに必要としなくなった。【呉服、小物小売販売】
問屋、商社による直販で販売先の減少が大きい。【建設材料販売】
零細店は大中店に比べ、すべての状況に対して不利です。【酒類米国食料品店(CVS 型)】
連続のコロナ感染防止対策非常事態宣言延長による消費低下。【そうざい屋】

飲食業・サービス業
①コロナ渦における政府、県、市の給付金等を持續して頂きたい。②事業所税の減免、③雇用調整助成金の再延長、④感染防止対策備品の援助、⑤飲食、宿泊業に特化したキャンペーンの継続的な実施【婚礼、宴集、会、宿泊、レストラン、出張料理、ボウリング】
新型コロナウイルス【居酒屋】
1月から営業時間が11時から8時になり客数減。パソコン、スマホがない高齢者への案内が不足。【居酒屋、酒、刺身他】
お客様の数は3割減な状態が続いている。【カフェ】
この一年間のコロナの感染状況を見ると今後も先の見えない不安が大きい。また、経済が回らなくなるのか？景気はもう回復しないのか？【一般乗用旅客自動車運送事業】
コロナで外食が大打撃だが、協力金でしのげる。【焼き鳥、焼肉、ハンバーグ】
コロナの影響がすごい。
コロナの影響で先行き不安。【そば、うどん】
コロナの影響多大。【日本料理】
コロナの状況に左右されて、先の見通しが立たない。【定食、麺類、丼物、コーヒー、アルコール類】
コロナ禍で人が出てこない。【寿司割烹】
コロナ収束後も家飲み習慣から抜けず、客足は急速に回復するとは思われないと思う。50年以上当地で営業しているが、後継者はなく高齢化のため早晚店じまいを考えている。【居酒屋】
コロナ不況【生ジュース調理店頭販売】
コロナ不景気【餃子専門店】
すべてが低迷している感があり。【ラーメン店経営】
悪化していく一方で回復のきざしが見えない。【日本料理、蕎麦】
急に客の数が減った。【居酒屋料理一般】
協力金のおかげで赤字を埋めることはできたが、今後同じような状況が続けば、お店をやっているか不安。【接客、飲食提供】
緊急事態宣言あけの入客数がどうなるのか不安。【バー、カクテル類、ウイスキー、フード類の提供販売】

緊急事態宣言が終わってもあまり客足が伸びないが、戻ってくるものと期待している。【ビール、チキン、ピザ】
緊急事態宣言解除になったら動きが変わればと思います【飲食店、ワインビストロ】
近隣飲食店舗の多数撤退による賑わいの低下。【飲食店経営 ハンバーグ】
昨年3月より学生のスポーツ関係の遠征がないこと。【宿泊施設】
昨年コロナによる売上の急落に対し閉店するかどうか考えて継続という答えを出して大きな借入をした。予想外に長引き、また資金繰りが悪化した。これ以上借入を増やせないで、廃業か継続の検討をしている。【ラーメン専門店】
昨年と比較すると移動販売のため、出店先のイベントが減少している。これから先もどうなるのかわからず不安。【移動販売】
時短営業、イベント中止や規制による売上減少が一番経営悪化の方向となっている。
時短営業による外食頻度の低下。【西洋料理レストラン】
社内にもコロナが蔓延した。
消費税が高い。納付に影響あり。【カフェ】
消費税表記の義務化により消費の落ち込みが心配。【居酒屋】
新しい今の時代に合った業務への取り組みが必要だと感じています【カフェ業務】
新型コロナウイルスの影響で夜の売上が大幅に減少。アルバイトの雇用が難しくなった。【ラーメン店】
新型コロナウイルスの終息が見えず、すべてにおいて不安定な状況が続くと思われる。【レストラン営業(スペイン料理全般)】
新型コロナウイルス感染拡大は新年から春先にかけてすべての催しの中止延期、宴会や会食の自粛要請、そして緊急事態宣言の発令となり、時短営業や休業により中小零細企業には打撃が大きい。
新型コロナウイルス感染症の影響によりビジネス、個人消費ともに落ち込んでいる。特に個人消費の落ち込みが酷い印象。何を打っても響かない状況。【ビジネスホテル】
新型コロナウイルス感染症の影響大。【珈琲専門店】
売上回復が不透明。
小学校の夏休み工事の減少。【情報通信サービス】
令和3年1月～3月は、ほとんど営業できず、回復のきざしも見えないことが不安です。【飲食店】
コロナでの資金繰り悪化。【一般旅客自動車運送事業】
コロナによる売上不振。【建築資材、鋼材】
コロナの影響が続いており、この騒ぎが収まらなると荷動きも活発にならない【部品、雑貨の輸送】
コロナの影響が読めない。【物流代行業(加工食品、酒類、雑貨)】
飲食店の営業時間短縮などによる荷物の減少。【食品貨物運送】
飲食店ばかりで他の企業の支援制度の門(売り上げの減少率前年比50パーセントって！)が狭すぎる！！【自動車部品】
荷主とのコミュニケーションが取りにくい。【電気設備、機械部品、同材料他】
感染対策により大型の貸切バスを使用した旅行やイベントなどが消滅した。Go To トラベルなど個人消費が復活する施策の実施が待ち遠しい【貸切バス】
売上の低迷。消費者意欲の低迷【一般貨物運送】
求人を出しているが、なかなかこない。コロナの影響で昨年より売上低下。【一般貨物運送】
緊急事態宣言の影響で建築現場の工事予定も遅れ、資材運搬の受注もかなり減っている。【建築資材運搬】
雇用状況と景気感が不安。
仕事量が少なくなっていることが原因で業界全体の価格が下がっている。【物流コンサル、利用運送、小売】
先行きが見えない。【一般貨物】
労働時間の制限。【新聞】
IT、ソフトウェアの分野は比較的堅調に見受けられるが、組込系や、関わっている対象業種によっては、影響を受けている。4月以降の新年度の傾向がいつも以上に読めない状況であると感じている。【ソフトウェア開発、インフラシステム構築】
イベントや新しい企画が立ち上がらない【webを使ったプラットフォーム事業、映像制作】
コロナの影響で受注は増えたが、それをこなせる人材が不足している。【Web制作】
企業のソフトウェア開発予算が武漢肺炎対策に持って行かれているので、マーケット自体が急速に縮小されてしまっ、回復の目処が立たない。【ソフトウェア開発】

景気の先行きの不透明さ【情報処理サービス業】
自粛で対面サービスが定期的にダメージを受けることが、ワクチンが広がるまでであると思うので別途サービスを立ち上げるように準備しなければならない。【web制作、動画/写真撮影】
相手先企業がコロナの影響でプロジェクトの予算減少。【金属の凝固シミュレーションシステム(ソフト製造、販売)】
売上が思ったほど伸びない。人員が育たない。【装置設計製造のソフト設計】
不透明さを感じます【WEBページ制作、ネットワークカメラ施工販売】
7月以降の購入の動きは強い、売却に関しては、消極的【不動産仲介(土地・建物・マンション等)】
イベントの中止が続いている。【観葉植物レンタル業】
パートタイマーの最低賃金がしょっちゅう上がり雇いきれない【浄水器レンタル業】
ワクチンの接種が早く国民に回ってくると結果は良くなる。
引っ越しの減少に伴い、リフォーム工事の受注金額の減少が懸念される。【賃貸アパート管理】
客数減少【ショッピングセンターの運営】
景気悪化。【ビル管理】
景気悪化してます。【不動産取引全般、主に賃貸管理】
昨年からのコロナ禍の中でできることをしなければならぬ。【土地、建物売買、賃貸管理、賃貸経営】
仕入単価の上昇でそれが販売価格上昇になって需要者が減退することが心配。
需要と供給のギャップにより売上に停滞感を感じます。しかし、仕入れの選択精度を高めているため、仕入再販のサイドが短くなってきた。【不動産買取再販売。不動産全仲介。不動産管理。】
新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、既存テナントからの賃料減免や新規テナント募集の苦戦から前年対比売上が減少。【不動産賃貸管理】
新型コロナの影響で店舗来客の減少、インターネットを利用したの営業を強化する必要性を痛感している。【不動産賃貸、不動産賃貸・管理・仲介】
人の動きが制限されれば当然経済活動にも支障がある。今後この状態がループ的に継続されると行政の支援財源も枯渇し、結局資金の投入がムダになるだけで雇用状態が悪化し、家賃の滞納が蔓延する。【賃貸不動産の管理・運営事業コンサル、土地建物の売買、仲介、開発分譲他不動産全般】
先が見えません。【不動産の仲介】
先行き不透明のため経営不安あり。【不動産売買仲介】
賃料減額、退店要請が続く。(コロナ禍影響)【ショッピングセンター運営管理業務】
店舗、事務所、工場などの退店。【不動産賃貸(駐車場、アパート、工場、事務所、店舗、戸建て)】
日本経済全体の今後が不安。【賃貸不動産の管理業務】
不動産業はまだまだ契約等書類でのやり取りが多く、業種的にサービス業に近いもので有り、昨今のリモートワークの導入と言う導入コスト等、なかなかハードルが高く非常に難しく感じています。【不動産賃貸管理】
弊社管理物件をご契約されている法人、事業をやられている借主様は国や行政の給付金や補助金等をうまくご活用されているようで、賃料減額の相談や契約の解約は想定していたほどありませんでした。(住居契約は相談等含め1件もなし)。しかし商店街内の高齢者をお客様に営業されている小売りのテナント様は来客が遠のき売上に苦悩されているようです。弊社も例年に比べ来客や取引等は少し緩やかに感じますが、家賃収入や管理料等の定期的収入が有る為日々の営業は保つことができています。しかし現状のままですと更なる収益増加が難しい状況に感じます。【不動産仲介(売買・賃貸)、管理業、不動産賃貸業】
法人所有の不動産情報が減少気味。コロナ禍で情報交換量が減少か。【不動産仲介、不動産コンサルタント(権利調整含む)、賃貸管理】
コロナで消費無し。毎日売上ゼロ。【クリーニング】
コロナと規制のダブルパンチ【ぱちんこ店】
コロナによる影響。【洋服直し】
コロナによる来客減少。【理容業】
コロナ禍が落ち着くまでは我慢。【葬祭業全般、仏壇仏具販売、その他】
コロナ禍の影響、ワクチン接種の促進【旅行業】
生活感が一段と厳しくなっています。【0】
コロナ禍の法人自粛ムードが続いており、会員(メンバー)の来場は多いが、ゲストを含めた大型コンペが減っている。【会員制ゴルフクラブの運営】
コロナ終息まで我慢。【葬祭業】

一般団体旅行の需要が少ない。GoToトラベルの再開に期待。【旅行業】
外出自粛によるお見合い減少。結婚減少。【結婚相談業、結婚相手紹介、交際アドバイス】
緊急事態宣言によるお客の周期律が伸びて全体的にマイナスになった。【理美容】
緊急事態宣言の解除が課題。【旅行商品の販売および手配】
好景気の感触【理容】
催し物(行事かイベント)の前が忙しい職業であり、1年も中止となっているので、早く実施してほしい。【一般理美容】
再延長に伴い不安しかない。【墓石清掃、クリーニング、コーティング、石材特殊清掃】
最悪の状況。【クリーニング】
自粛で外出しづらいことで来店サイクルが長引いている。【美容業】
受注があるか疑問。営業を積極的に。
世の中の方が室内に限らず活動的に外出することに対して懸念があるため、どうにかしなければならない。【運動指導、フィットネス】
不景気による売上減少。【清掃用具レンタルおよび販売、家事代行、清掃】
来店客の減少、売上ダウン、先が見えない。【美容技術一般、カラー、カット、パーマ、エステ】
来店客の減少。消費低迷。【美容業】
例年ならこの時期は、卒業式や入学式で忙しいのですが、去年に続き今年も売り上げは減少しています。【美容業】
オーダーが増えてきているので、今年末には元の状態に戻ると予想しています。【0】
オリンピック関連工事の計画遅延。【電気通信施設の設計、施工、保守およびコンサルティング業務】
コロナで不況。【社会保険労務士業】
コロナによる諸影響【エンジン・ターボチャージャの設計等】
コロナの影響か？件名の遅延が出ており、売上、採算へ影響あり。【除振台、防振装置、除振防振子工事、除振コンサル、振動測定及び解析】
コロナの影響で企業経営が苦しく、願う講習会に参加が少ない。【厚生労働省管轄の法令の要点を企業に説明する。人事労務のあり方を企業に指導する】
コロナ禍においての対面サービス提供の難しさ【コンサルティング、コーチング】
コロナ禍の緊急事態宣言により個人消費が低迷している。【広告代理業(ポスティング)】
株式市場と現実の景気感の乖離。【光電変換素子(太陽電池等)の研究開発】
近年、色々な規制、検討事項が増えてきて協力会社に依存しないと許可が取れないことが多くなった。協力会社に支払う料金が上がっているのに、設計料金は工事費の%で求められるので利益が減っている。又、%テージ率も年々減ってきている。技術職は人件費の割合が大きいのにさらに値下げを要求されるのは辛い。八方ふさがり状態がここ数年続いている【建築設計(ビル)】
顧客からの広告費削減。【総合広告代理店】
公共事業の縮小を懸念しています。収入(売上高)に見合った経費とする。【電気管理業務】
航空写真から図面を作成するから航空レーザ、地上レーザで3次元データを作る設備投資(ソフトウェア)がネックである。【航空写真測量】
昨年同一労働同一賃金に対応するため時給を大幅に上げたので、売上が低めだと利益に対する影響が大きくなった。【各種製品の検査包装】
社会の変化にビジネスチャンスと捉えたい【システム開発】
取引先の支払い遅延が目立ってきた。緊急事態宣言対象エリアともあって顧客と面談する機会も減った。取引先の資金繰り、経営状況を掴むことが重要な仕事でもあるため、今年度は面会も拒まれ、売上の減少に繋がっている。スポットでの顧客も減りつつある。【コンサルティング】
製造業のICTシステム開発案件も増えてきていると感じる。上流の要求定義案件に是非参加できるよう、営業を強化していきたい。【IT コンサルタント】
新型コロナウイルスによる景気後退。【電気保安管理サービス、電力コンサルティング】
新型コロナウイルス感染症を機会とする企業は伸びている。【プレス加工の自動化支援、品質・環境 ISO 支援】
人員不足【行政書士、社会保険労務士業務】
中小企業の人材不足。【税務書類の作成】
動きがとりにくく、顧問先の開拓が困難。【社労士業務】
サービス業としてコロナの影響あり。【空調設備メンテナンス】

特に今のところはあまり感じていない。【測量業、地上、地籍、河川測量、開発許可】
問い合わせ、引き合い等の減少【改善支援】
4月以降客先の景気見通しにより視界不良。【人材派遣業】
お客様がとにかく安くといってくるが多くなった。【自動車整備工場】
ここ数年最低時給は上がっているが、受注単価は上がらないので、利益の確保が困難。従来の受注では現場に作業車両等を置けたが、ここ数年は近隣のコインパーキングなどに停めざるをえない状況があるが、現場諸経費として請求できず利益の減少に繋がっている。【ビルメンテナンス】
景気の後退。【自動車ガラス販売、施工】
景気未だ回復しておりません。【エアコンプレッサーの販売・整備点検等】
雇用においてエントリーが例年より少なかった。【スタッカー・クレーン設備等のメンテナンスおよび改造】
雇用状況の悪化。
公官庁、民間の予算の減少。【清掃業、廃棄物処理業、環境機器販売業】
昨年の4月、5月は一時売上がダウンしたが、7月以降回復している。
社会全体の動きが止まっている。【非鉄金属の回収、運搬、リサイクル業】
取引先の高齢化。自動車部品の流れが悪い。【ラジエーター等熱交換器の修理、販売】
修理代をかけなくなってきている。【自動車整備】
消費活動が停滞しているので、取扱数量が伸び悩む。売上単価が上がらない。従来にない諸経費がかかる。【再生資源卸売、廃棄物処理】
販売先減少等による売上減。【自動車硝子施工販売】
販売単価を上げることで粗利率を増加できる傾向にある。【建築物清掃】
平均して10%くらいのマイナスが続いているので、最近特に苦しくなりました。【産業機械の設計製図サービス】
新型コロナウイルスの早期解決。【金属リサイクル業】
人員の安定。【人材サービス業】
相模原市予算の減額による事務事業の一律カットがあり、市民サービスの低下を感じる。【廃棄物】
お客様との関係性の強化。【養鶏】
このところの新型コロナウイルスでじわじわ建設業種にもしわ寄せがある。消費動向も若干減少。【衛生害虫消毒、カビ除菌】
コロナ、オリンピックがどうなるか不安。【教育事業】
コロナで長期化したら経済影響を感じる。【接骨院】
コロナによる社会の先行きが暗い点。【郵便事業】
コロナの影響がどこまで続くか【生損保代理業】
コロナの影響で利用者様のキャンセルが多く、売上が減少している。今後も継続すると予測している。売上が上がらない状況で、人材不足しているものの新規雇用もためらってしまう。パートを雇用しようと求人出しているがなかなか応募がない。【介護、福祉、医療】
コロナ禍が収束を迎えると好転を期待。【合気道道場】
コロナ禍で大変な状況である。【福祉施設の運営】
コロナ禍で訪問の仕事が出来なかった。【高齢者向け訪問型個別レクリエーション】
コロナ禍によりイベント等がほぼ中止となり、それに伴う売上減少が経営に大きく響いている。また、経営状況の悪化により広告費削減をするスポンサーが少なく、非常に打撃を受けている。コロナ禍の早期の終息を願うが、アフターコロナも以前の通りになるとは思えず、危機感を持っている。【放送事業】
コロナ禍によるイベントなどの開催が困難になったことにより収益が減少【犬のしつけ方教室、犬のしつけ・訓練、講師派遣、セミナー開催】
コロナ対応、対策。【介護事業】
コロナ対策の経費がかさむ。(暖房器具代、アルコール消毒関連設備)【郵便、貯金】
ネイルサロンの本来ピークタイムである19時から21時に予約が入らない。緊急事態宣言の影響。【コンサルティング、社員研修、ネイルサロン、ネイルスクールの運営】
マインドの低下により、コンサート来場者激減による売上減少への影響。【コンサートの企画、制作】
株価、オリンピック。【保証業務、信用保証】
患者減少の中、雇用を維持していくことが大変になっている。【鍼灸接骨院】

緊急事態宣言により老人ホームに出入りできず売上減少。更に2週間延長で先が見えず。【鍼灸マッサージ業】
緊急事態宣言の影響。【介護(デイサービス)】
緊急事態宣言の影響。【訪問鍼灸】
雇用状況【インキュベーションセンターの運営】
高齢者の一部の外出自粛が継続中。【接骨院鍼灸院】
国の指定事業であり最低補償として守られていますが、その反面、施策によって左右されることがあり、大きく舵を切ること多々ある。また、コロナ禍で雇用状況が悪化し、福祉業に流れてくるように感じる。【障害福祉サービス業】
昨年、補助金が採択され合計で300万弱を新たに始めた非対面型ビジネスと感染症対策に当てたが、それに対して見返りだけの人の動きがなく経費がかさんでいる。緊急事態宣言を受け人が動かなくなっている事で飲食店以外にも、かなりの影響が出ているにも関わらず補填がなく厳しい状況が続いています。今後に関しては希望を持って好転すると望みたい！【ヨガスタジオ】
徐々に売り上げが下がっている。【保険代理店】
商店街の組合のため、空き店舗、組合員の減少。商店街のイベントができない。【商店街組合】
消費者側が先の見えない経済状況に不安を感じていること。関西等は人の流れに景気回復のきざしを感じます。回復を願います。【各種学校】
新型コロナウイルスの影響により在宅での受診増加。【訪問治療】
新型コロナウイルス感染拡大に伴う、ご融資の相談多し。【金融業、銀行業】
全体的な消費低迷感。【学習塾】
不況で単価が下がっている。【学習塾】
予約がぱんぱんに入って大盛況の大反響の予約が殺到してしましてとても嬉しいです！が、1人じゃできないぐらいです！【整体の施術】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=932)

	回答割合	
売上不振	55.5%	517
受注単価・販売価格の低下	9.8%	91
収益率の低下	20.5%	191
個人消費の低迷	12.3%	115
販売先の減少	12.0%	112
大型店の進出	0.4%	4
チェーン店等との競争激化	0.8%	7
公共工事の減少	2.7%	25
民間工事の減少	3.9%	36
仕入単価の上昇	6.7%	62
円安の影響	0.1%	1
円高の影響	0.1%	1
代金回収困難	0.8%	7
諸経費の増加	5.8%	54
従業員(含、臨時)が過剰	1.9%	18
従業員(含、臨時)が不足	4.6%	43
設備不足・老朽化	7.1%	66
特になし	0.2%	2

製造業

今回調査を見ると、「仕入単価の上昇」が増加した。「収益率の低下」「販売先の減少」「諸経費の増加」などが改善。「従業員が不足」はさらに減少が続く。景況の回復傾向が表れた形となっているが、物流の問題により仕入単価の上昇傾向がみられることが懸念される。

	R2年1～3月 n=244	R2年4～6月 n=308	R2年7～9月 n=264	R2年10～12月 n=272	今回調査 n=235
売上不振	62.3%	75.3%	79.2%	72.1%	71.1%
受注単価・販売価格の低下	18.0%	19.8%	20.8%	15.4%	13.6%
収益率の低下	28.3%	40.6%	40.2%	29.8%	26.8%
個人消費の低迷	9.4%	6.8%	8.0%	7.4%	3.0%
販売先の減少	15.6%	18.5%	17.8%	18.8%	10.6%
大型店の進出	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
公共工事の減少	3.7%	3.2%	3.8%	4.4%	1.7%
民間工事の減少	4.5%	6.2%	7.6%	7.0%	3.0%
仕入単価の上昇	17.2%	9.1%	6.1%	11.0%	13.2%
円安の影響	0.0%	1.0%	1.1%	0.7%	0.4%
円高の影響	3.7%	1.3%	2.3%	1.5%	0.0%
代金回収困難	1.6%	2.6%	1.1%	0.7%	0.4%
諸経費の増加	16.4%	11.7%	10.6%	11.4%	7.2%
従業員(含、臨時)が過剰	2.5%	8.4%	8.0%	5.9%	5.5%
従業員(含、臨時)が不足	15.2%	14.3%	8.7%	10.3%	6.4%
設備不足・老朽化	20.5%	10.7%	12.1%	19.9%	14.5%
特になし	9.0%	5.2%	2.7%	5.9%	0.4%

※ 前回報告(R2年10-12月)のものと、割合の計算方法が変更されています(延べ回答数に対する割合から、回答者数に対する割合に変更しました)。

経営上の問題点（業種別）

建設業

「収益率の低下」「受注単価・販売価格の低下」「公共工事の減少」「民間工事の減少」が減少し、景況の改善がみられる。「従業員不足」はほぼ解消されており、仕事量が低位で落ち着いていると思われ、厳しい状況は続いていることが見える。

	R2年1～3月 n=175	R2年4～6月 n=214	R2年7～9月 n=184	R2年10～12月 n=180	今回調査 n=155
売上不振	30.3%	48.1%	41.8%	41.7%	45.2%
受注単価・販売価格の低下	21.1%	26.2%	25.0%	29.4%	12.9%
収益率の低下	24.0%	31.8%	26.1%	33.9%	12.3%
個人消費の低迷	14.9%	18.7%	10.3%	10.0%	5.2%
販売先の減少	6.9%	10.3%	8.7%	8.3%	5.8%
大型店の進出	0.6%	1.4%	1.6%	1.7%	0.6%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%
公共工事の減少	18.9%	22.4%	30.4%	22.2%	7.7%
民間工事の減少	27.4%	38.3%	38.0%	35.0%	14.2%
仕入単価の上昇	21.7%	8.9%	10.9%	16.7%	5.2%
円安の影響	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	0.0%
円高の影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
代金回収困難	1.1%	2.8%	3.8%	0.6%	0.0%
諸経費の増加	20.6%	14.0%	12.5%	7.2%	0.0%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.9%	1.6%	0.6%	0.6%
従業員（含、臨時）が不足	38.9%	23.4%	29.9%	30.6%	5.2%
設備不足・老朽化	4.6%	1.9%	4.3%	5.0%	1.9%
特になし	8.0%	3.3%	4.3%	4.4%	0.0%

小売業・卸売業

「収益率の低下」「個人消費の低迷」「受注単価・販売単価の低下」が減少し、景況は回復している。従業員の過不足感はなくなり、需給バランスは取れているようである。「売上不振」はやや減少しているものの50%を超えており、景況は低位で安定している状況である。

	R2年1～3月 n=164	R2年4～6月 n=199	R2年7～9月 n=167	R2年10～12月 n=161	今回調査 n=134
売上不振	56.1%	67.8%	58.1%	53.5%	50.7%
受注単価・販売価格の低下	9.1%	13.6%	10.2%	10.1%	6.7%
収益率の低下	29.9%	31.7%	29.3%	28.8%	16.4%
個人消費の低迷	45.1%	45.2%	38.9%	24.5%	20.9%
販売先の減少	19.5%	33.7%	21.6%	17.9%	17.9%
大型店の進出	7.9%	3.0%	4.8%	0.7%	0.7%
チェーン店等との競争激化	9.1%	0.0%	5.4%	3.8%	2.2%
公共工事の減少	1.2%	1.5%	3.0%	2.6%	0.7%
民間工事の減少	4.3%	6.0%	6.0%	2.6%	0.0%
仕入単価の上昇	18.3%	10.1%	18.6%	5.4%	7.5%
円安の影響	0.6%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%
円高の影響	3.7%	0.5%	0.6%	0.7%	0.0%
代金回収困難	4.3%	1.5%	3.0%	2.4%	1.5%
諸経費の増加	18.9%	11.1%	11.4%	18.2%	3.7%
従業員（含、臨時）が過剰	2.4%	1.5%	4.2%	1.7%	0.7%
従業員（含、臨時）が不足	12.8%	13.1%	9.0%	20.8%	3.0%
設備不足・老朽化	4.9%	6.0%	8.4%	13.0%	3.7%
特になし	7.3%	4.0%	7.2%	11.8%	0.0%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「受注単価・販売単価の低下」「収益率の低下」「個人消費の低迷」「販売先の減少」は減少し、状況は回復基調にはある。とはいえ、小売業同様「売上不振」がいまだ50%を超えており、厳しい状況が続いている。

	R2年1～3月 n=417	R2年4～6月 n=499	R2年7～9月 n=444	R2年10～12月 n=424	今回調査 n=408
売上不振	46.8%	62.9%	59.2%	53.5%	52.0%
受注単価・販売価格の低下	10.3%	12.6%	11.3%	10.1%	7.4%
収益率の低下	30.9%	30.5%	26.8%	28.8%	21.3%
個人消費の低迷	30.7%	31.1%	25.2%	24.5%	17.6%
販売先の減少	12.7%	19.4%	15.5%	17.9%	13.2%
大型店の進出	1.4%	0.6%	0.5%	0.7%	0.2%
チェーン店等との競争激化	5.3%	0.0%	3.2%	3.8%	1.0%
公共工事の減少	2.4%	2.6%	3.8%	2.6%	2.0%
民間工事の減少	3.4%	5.4%	5.4%	2.6%	1.7%
仕入単価の上昇	10.8%	5.8%	7.0%	5.4%	3.2%
円安の影響	0.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
円高の影響	1.2%	0.6%	0.2%	0.7%	0.2%
代金回収困難	2.4%	5.2%	2.9%	2.4%	1.0%
諸経費の増加	20.1%	15.0%	20.0%	18.2%	7.8%
従業員（含、臨時）が過剰	2.9%	3.8%	3.6%	1.7%	0.7%
従業員（含、臨時）が不足	24.9%	19.6%	17.6%	20.8%	3.9%
設備不足・老朽化	12.0%	8.6%	15.3%	13.0%	5.9%
特になし	9.6%	8.4%	9.0%	11.8%	0.2%